

実験病理組織技術研究会

第23回総会・学術集会 プログラム

開催日：7月1日（金）1日目 受付：12:00～

総合司会：位坂清継

挨拶 実行委員長：宍戸隆男 [13:00]

研究発表 I [13:10-14:10] 座長：国遠かおり、三好貴子

1. ラット眼球の切り出し方法の検討
○穂波貴光、丹下泰宏、溝口真和、山本郁夫、萩原孝
公益財団法人 食品農医薬品安全性評価センター 試験部病理検査室
2. 病理組織標本の画像解析による半定量法の検討 —ラット結膜杯細胞の解析—
○柴田通、望月貴治、勝田修
参天製薬(株) 研究開発本部 非臨床研究統括部 安全性動態グループ
3. 病理組織標本におけるアーティファクト軽減効果の検証 —ラット十二指腸における検討—
○永田百合子、畑千恵、安藤稔、栃内亮太、角将一
株式会社ヤクルト本社中央研究所 安全性研究所 安全性第二研究室
4. 作製方法の違いによるラット上皮小体出現率の比較
○出口聡子、橋本明穂、加藤友美、阿部麻紀、重末由紀子、金林智倫
株式会社 バイオ病理研究所

研究発表 II [14:10-14:55] 座長：勝山清加、宮本由美子

5. ラットの肝臓を用いた鍍銀染色に関する事項
○池田裕樹、四郎丸千恵、木下恵華、石井三和子、黒滝哲郎
(株) LSI メディエンス 鹿島研究所 病理研究部
6. ラットの膵臓を用いたアルデヒド・フクシン染色の熟成及び寿命期間の検討
○木下恵華、池田裕樹、四郎丸千恵、石井三和子、黒滝哲郎
(株) LSI メディエンス 鹿島研究所 病理研究部
7. リン脂質染色(酸ヘマチン法)における染色時間短縮検討
○中野理恵、山岸紗友理
キッセイ薬品工業株式会社 安全性研究所 病理研究室

=====休憩(14:55-15:15)=====

教育講演 I [15:15-16:15] 座長：宍戸隆男

『乳腺・特殊皮脂腺の毒性病理』

○義澤克彦

関西医科大学 病理学第二講座

特別講演 [16:15-17:15] 座長：古川文夫

『腺管分離法が拓く、形態と機能のハーモナイゼーション -消化管粘膜幹細胞の視点から-』

○立松正衛¹⁾、塚本徹哉²⁾

1) 元愛知県がんセンター研究所 副所長、2) 藤田保健衛生大学医学部 病理診断科 I 准教授

【懇親会】 [17:30-19:00] 4階会議室(401号室)

7月2日(土) 2日目 受付: 9:00~

研究発表Ⅲ

[9:30-10:30]

座長: 前田圭子、中野健二

8. 賦活化処理による皮膚組織の剥がれー低温賦活化処理の検討ー

○渡辺秀幸、河上明美、山口浩美

(株) LSI メディエンス 熊本研究所 病理研究部 病理2グループ

9. パラフィン切片の保存条件が免疫組織化学の染色性に及ぼす影響ー温度・湿度・酸素濃度の関与ー

○畑千恵、安藤稔、永田百合子、栃内亮太、角将一

株式会社ヤクルト本社中央研究所 安全性研究所 安全性第二研究室

10. 骨非脱灰樹脂標本作製法

○佐藤国夫、田中美也子、西川真由、速水賢司、木村正美、中村優太、下村隆哉、

島田美千代、赤荻徳雄

(株) サンプラネット 安全性研究事業部

11. 3次元生体組織の組織標本作製手法

○日浦綾美

大阪大学大学院 生命機能研究科 明石研究室

教育講演Ⅱ

[10:30-11:00]

座長: 斎藤美佐江

『病理技術の変遷と技術書』

○尾崎善孝

江東微生物研究所 病理研究所

《総 会》

[11:00-12:00]

司会: 位坂清継

議長選出

1. 2015年度活動報告
2. 2015年度会計報告及び監査報告
3. 2016年度活動計画
4. 2016年度予算案
5. 2016年度委員会体制について
6. 会則、細則改定
7. 評議員、理事の追加
8. その他

===== 昼食 [12:00-13:30] =====

賛助企業による発表 [13:30-13:50] 座長：五十嵐功

1. [13:30-13:40] [サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)]
2. [13:40-13:50] [サクラファインテックジャパン(株)]

アザン染色、コントロールサーベイ調査報告 [13:50-14:50] 司会：木村正美

- ・アンケート調査報告：澤多美和
- ・染色結果評価報告：望月貴治

教育講演Ⅲ [14:50-15:50] 座長：山口 肇

『アザン染色の原理とポイント』

○渡辺明朗

サクラファインテックジャパン(株) 開発部

閉会挨拶 副実行委員長：中野健二 [15:50]